



手紙

【戦後75年企画】 2020年に10代20代のあなたへ

いま80代、90代を迎えた高齢の方々が、みなさんと同じ10代、20代だった1940年代、日本は大きな戦争をしました。アジア各地に出かけて行って多くの人々を殺し、殺され、また日本全国でも空襲や、原爆によって一般の人々が犠牲になりました。沖縄では地上戦にまきこまれ、島民の4人に1人が亡くなりました。

戦争が終わって、今年で75年。戦争がどのようなかを聞く機会は、年々少なくなっていました。それとは反対に、世界で戦争や紛争が絶えず、また私たちにも再び戦争の足音が近づいてきた今だからこそ、語り残しておきたいというおじいさん、おばあさんの願いは強くなっています。

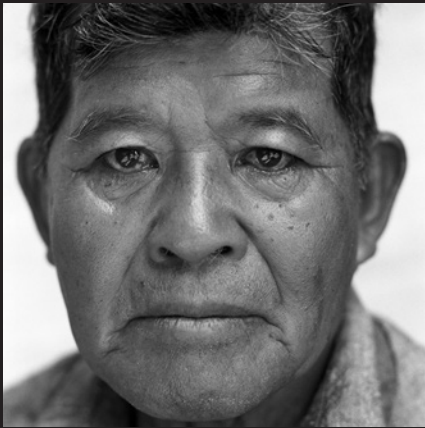
そこで若いみなさんにお願があります。『若者から若者への手紙1945↑2015』の15人の戦争体験者の中から、一人を選んで写真と証言に向き合い、当時10代、20代だったその人に「手紙」を書いていただけませんか？

その人のどんなところが印象に残ったか、もしあなただったらどうしたろうか……共感できること、びっくりしたこと、わからないこと、腹立たしいこと、いまの自分と重なること、何でもかまいません。考えたり感じたままを、『同世代の友だち』に書くときと同じように語りかけて書いてほしいのです。ダメ口でもかまいません。

15人の戦争体験者は、もう亡くなられた方も多いのですが、メッセージが若い人たちに届き、心を通わせることができたなら、何より喜んでくださると思います。1940年の若者たちと2020年の若者たちが出会い、つながります。

戦争の時代を

生き抜いた「若者」たちに を書いてみませんか？



15人の戦争体験者の中からお一人を選んで、1000字(英文なら500ワード)程度で書いてください。簡単なプロフィールを添えましたが、『若者から若者への手紙 1945←2015』の写真と文章に向き合ってくださいますようお願いいたします。

提出時には、あなたの手紙に、
①名前 ②生年月日 ③職業・学生(学年)
④メールアドレスまたは住所を添えてください。
しめきりは2020年12月31日です。

HP上、紙上等で発表する際には、事前に確認させていただきます。無断使用はいたしません。なお、お書きいただいた手紙は返却いたしませんのでご了承ください。

〈問い合わせ・提出先〉
OfficeY&K 北川直実
officeyk@jcom.zaq.ne.jp

写真(表裏ともに)落合由利子

[15人の戦争体験者]

*年齢は1945年8月15日当時。

東京大空襲で被災

清岡美知子さん(21歳)

戦場、シベリア、戦犯管理所での16年

金子安次さん(25歳)

ずいせん学徒看護隊に従軍

宮城已知子さん(19歳)

原爆できょうだいすべて失った

池田早苗さん(12歳)

満蒙開拓団の後、中国内戦を生き抜く

山谷伸子さん(20歳)

飢えとマラリアのニューギニア

塚原守通さん(23歳)

15歳で731部隊少年隊員に志願

篠塚良雄さん(21歳)

辺野古の沖縄戦

鳥袋妙子さん(17歳)

広島原爆に戦後も苦しむ

石見博子さん(10歳)

泰緬鉄道の捕虜監視員として死刑囚に

李鶴来さん(20歳)

東京から信州へ、学童疎開を引率

岩瀬房子さん(22歳)

沖縄戦で鉄血勤皇隊に動員

金城幸裕さん(16歳)

中国で戦闘部隊に従軍

品川正治さん(21歳)

長崎で被爆者を治療

久松シソノさん(21歳)

強制疎開させられ、マラリアに

仲底善光さん(9歳)



『若者から若者への手紙 1945←2015』

写真 落合由利子
聞き書き 室田元美・北川直実
出版社 ころから
定価 1800円+税

<http://korocolor.com/book/letter1945.html>

*英語版電子書籍

『1945←2015: Reflections on Stolen Youth』(2019年)を出版しました。

<https://www.amazon.co.jp/1945-2015-Reflections-on-Stolen-Naomi-Kitagawa-ebook/dp/B07TNRKF8R>

*海外の読者との交流サイトを作りました。

<https://1945-2015-letter.jimdofree.com>